

# 北条氏支配領域図



※各時期の最大領域を示しましたが、確定が困難な地域、想定した地域や後に他の大名家に支配が移った地域などを含みます。

## 早雲寺殿廿一箇条

- 一、可信佛神事
- 二、朝早可起事
- 三、夕早可寝事
- 四、手水事
- 五、拝事
- 六、刀衣裳事
- 七、結髪事
- 八、出仕事
- 九、受上意時事
- 十、不可爲雑談虚笑事
- 十一、諸事可任人事
- 十二、讀書事
- 十三、宿老祇候時禮義事
- 十四、不可申虚言事
- 十五、可學歌道事
- 十六、乘馬事
- 十七、可撰朋友事
- 十八、可修理四壁垣牆事
- 十九、門事
- 二十、火用心事
- 二十一、文武弓馬道事

「早雲寺殿廿一箇条」は早雲作とされる家訓です。

北条氏は、早雲の教えをよく守り、五代百年の治世を築きました。

## 北条氏の領国経営

- その1 早雲は、他の戦国大名に先駆け、検地を行い、過酷な税に苦しむ領民のため年貢を引き下げる改革をしました。
- その2 京都から薬を取り寄せ、領民を疫病から救いました。
- その3 早雲作と伝わる家訓「早雲寺殿廿一箇条」では、仏神の信仰に始まり、早寝早起き・掃除防犯・火の用心等の家政上の注意、出仕時の主君への対応、読書・歌道・乗馬等の修養など、日常における注意点や心得が細かに簡潔に記されています。この教えはその後代々受け継がれました。
- その4 氏綱は、農民あての文書に虎の印判を押すという画期的な手法を用いました。それまで家臣や代官によって間接的に支配していた農民を直接支配するようにして、家臣等による非法を防ぎました。
- その5 堅実さを重んじた氏綱は、氏康に五箇条の遺言状を与え、領国経営の秘策を伝えました。
- その6 氏康は、領域ごとに編成配備した軍団「衆」の実態を示した小田原衆所領役帳(北条氏所領役帳)を作成し、労役の賦課や費用の拠出などを求める際の台帳として用いて、家臣團統制を確固としました。

北条五代観光推進協議会とは  
北条五代観光推進協議会は、戦国の世にあって親兄弟争うことなく五代百年にわたり関東を治めた北条氏にゆかりのある12市2町 岡山県井原市、大阪府大阪狭山市、静岡県沼津市、三島市、伊豆市、伊豆の国市、神奈川県横浜市、相模原市、鎌倉市、小田原市、箱根町、東京都八王子市、埼玉県川越市、寄居町の行政及び観光協会が連携し、北条氏のさまざまな偉業や魅力を活用した観光事業を展開することにより、北条氏ゆかりの地として歴史や文化を広く全国に紹介し、地域の活性化を図ることを目的としています。

井原市 地域創生課 ☎0866-62-8850  
大坂狭山市教育委員会文化グループ ☎072-366-0011  
沼津市 観光戦略課 ☎055-934-4747  
三島市 商工観光課 ☎055-983-2656  
伊豆市 観光商工課 ☎0558-72-9911  
伊豆の国市 観光課 ☎055-948-1480  
横浜市 港北区地域振興課 ☎045-540-2234  
相模原市津久井まちづくりセンター ☎042-780-1403  
鎌倉市 観光商工課 ☎0467-61-3884

小田原市 観光課 ☎0465-33-1521  
箱根町 観光課 ☎0460-85-7410  
八王子市 観光課 ☎042-620-7378  
川越市 観光課 ☎049-224-5940  
寄居町商工観光企業誘致課 ☎048-581-2121  
井原市 観光協会 ☎046-62-8850  
NPO法人 沼津観光協会 ☎055-964-1300  
(一社) 三島市観光協会 ☎055-971-5000  
(一社) 伊豆市観光協会 ☎0558-73-1958

(一社) 伊豆の国市観光協会 ☎055-948-0304  
港北観光協会 ☎045-540-2234  
(一社) 相模原市観光協会 ☎042-771-3767  
(公社) 鎌倉市観光協会 ☎0467-23-3050  
(一社) 小田原市観光協会 ☎0465-22-5002  
(財) 箱根町観光協会 ☎0460-85-5443  
(公社) 八王子市観光協会 ☎042-643-3115  
(公社) 小江戸川越観光協会 ☎049-227-8233  
寄居町 観光協会 ☎048-581-3012

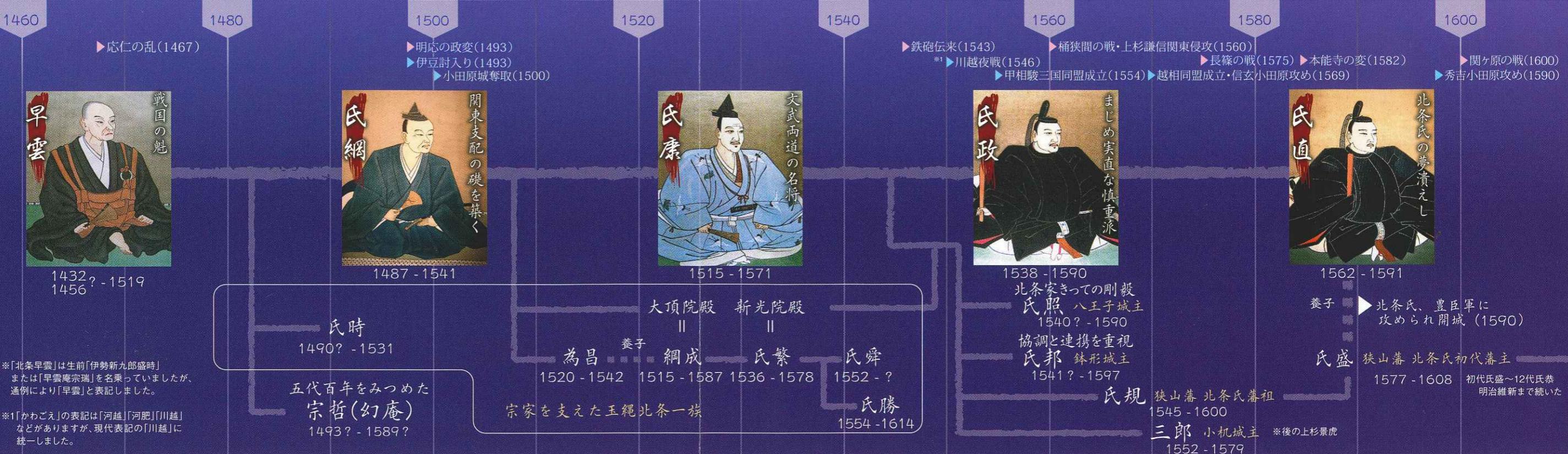
「北条五代」を大河ドラマに!

北条五代観光推進協議会



# 理想国家づくりを目指した北条一族

## 北条氏の系譜



## 北条五代ゆかりの市町

